

# FUGAの走りの性能を支える技術

## 安心して気持ちの良い運転が楽しめる抜群の走行性能

フーガでは、走行性能の向上、例えばコーナーの多い道路でも気持ち良く走れるハンドリング、長距離ドライブでも快適な乗り心地などを実現することを目指しました。

高い走行性能を得るためには、操縦安定性と乗り心地、そして動力性能を高次元でバランスさせるとともに、それぞれの機能で十分に高い性能を発揮させることが必要です。

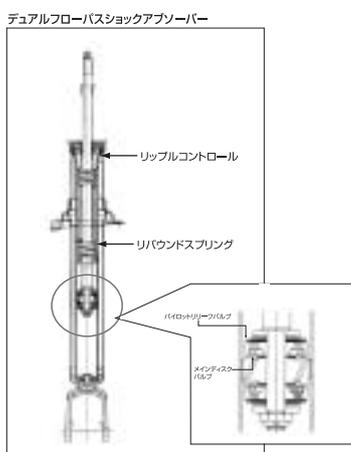
そのためには、しっかりとした基本性能を確保することが重要と考え、以下のような改良を行っています。



### ハンドリング・乗り心地性能

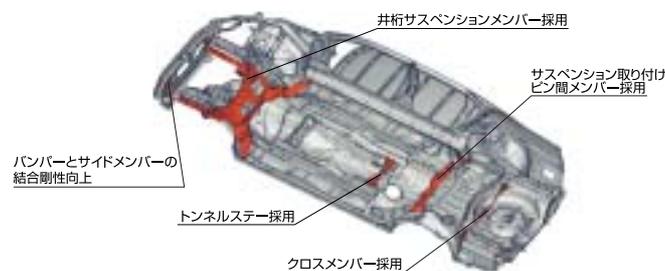
#### 世界初・新構造デュアルフローバスショックアブソーバー

新開発のデュアルフローバスバルブの採用により、理想の減衰力特性をもたらしました。ロールダンピングを確保するために、コーナリング時のピストンスピードでは減衰力を高く、平坦な路面での細かな凹凸や高速道路のつなぎ目のような大入力のピストンスピードでは減衰力を下げて、優れた乗り心地性能を実現しました。



#### プラットフォームの改良

剛性をさらに向上させる構造を設計し、必要な部位に改良を施しました。また、車体の接合も溶接点の追加はもとより、要の部位にレーザー溶接を施しました。これにより、高い横曲げ剛性、ねじり剛性、サスペンション取り付け部剛性などを実現しました。



#### 19インチタイヤ

大径タイヤ&ホイールは、高いグリップ力と快適な乗り心地を両立しました。19インチタイヤは、国産量産車としては初採用です。

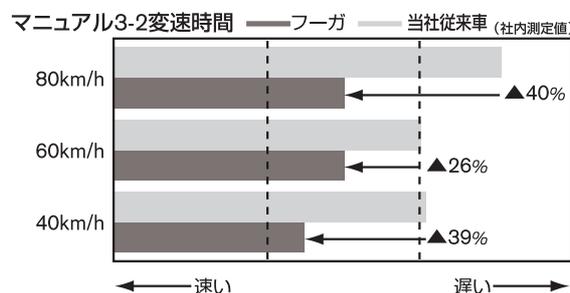
#### リアアクティブステア

車速と舵角に応じて、後輪を前輪と同相または逆相に操舵することで、中低速での機敏な動きと、高速での安定した挙動を両立させています。

### 加速性能

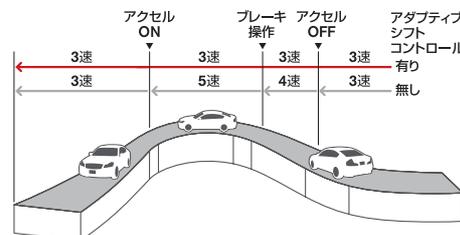
#### 新開発シンクロレブコントロール

マニュアルモード時に、エンジン回転を同期させ、すばやいダウンシフトをスムーズに行うスロットル・ブリッピング機能を採用しました。従来車に対し変速時間は最大40%短縮されました。



#### 新開発アダプティブシフトコントロール

エンジン回転、アクセル開度、車両加速度など、車両の各種センサー信号から、登降坂やコーナーといった道路状況、さらにドライバーの運転スタイルを自動で判定。走行シーンに応じて最適なギヤが自動で選択され、あらゆるシーンにおいて意のまま、かつ快適な走りを実現しました。



#### VQ35DEエンジン / VQ25DEエンジン

**VQ35DE**  
 最高出力: 206kW(280PS)/6200rpm  
 最大トルク: 363N・m(37.0kgm)/4800rpm

**VQ25DE**  
 最高出力: 154kW(210PS)/6000rpm  
 最大トルク: 265N・m(27.0kgm)/4400rpm

